

「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

【会場：百年記念ホール】

1	日 時	平成23年11月4日（金） 19:00～21:05
2	会 場	百年記念ホール 講堂
3	参 加 者	64人（ほか報道機関2人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、札内支所長、企画室参事、企画室副主幹

住民

説明会に初めて参加。11月の広報。市街地3地区の中間点に位置することや町全体の均衡ある発展に貢献するとある。書くこと自体は良いが、個人的には納得がいかない。これで、多くの町民を納得させることかできるかどうか疑問。中間点と言えるかどうか。おかしい。

幕別地区市街地形成に寄与し、均衡ある発展に貢献。本当にこれができるかどうか。疑問だ。

私なりに幕別町の歴史を勉強した。家にあった4冊の本を紐解いた。①十勝ほうめい(?)鑑(巻)、大正14年1月刊行。②幕別町開基55年誌、③幕別町史、④幕別町百年史で、関係するところをまとめてみた。

「止若ビラ」は、長いので後に「止若村」(現在の幕別市街)となった。「止」というのは冷たい。「若」というのは水を意味し、「ビラ」が大事。これは崩れ崖を意味する。本町は川に沿って、旭町まで崖になっている。なるほどと思った。

昔、十勝管内では一番池田町が人口が多かった。二番目は幕別。三番目が帯広だった。

幕別は、最初、止若が人口が多かった。そして役場もそこにできた。今は、人口逆転。札内の方が人口が多い。札内中心に動いている。幕別本町に行って用は足せない。本当に(本町は)不便である…。

言いたいことは、地盤が良くない。地震や水害の際、崩れる。札内地区に人口が集まって、これからもどんどん増えていく。幕別(本町)は段々減っていつている。年寄りばかり。幕別市街は幕別町を中心ではない。

中心、重心を考えれば、札内地区を重点的に考えるべき。今、それを考えないで、現庁舎敷地に役場を造った場合は、悔いが100年残る。後世の方に恥ずかしい。

住民

資料では、「建設位置を『現庁舎敷地に選定』し・ま・す」とある。この言葉からしても、意見を聞くと言うよりも、決定されたのかなと思う訳である。その確認が1点。

町

あくまでも、基本方針(案)としてのたたき台の中で、場所も建築面積も、はっきりしないことには、説明もできないことになってしまうので、行政側の案として、たたき台として提案したもの。

住民

「選定します」ということは、決定ではないということ。今日は説明会だから、ここに来た人達の意見を聞く場。このように解釈して良いか。役場の考えとして提示したと。

資料2の3ページ。「新庁舎の基本的な考え方」の6点。札内地区は人口が相当増えている。その点からしても、将来のことを考えた場合、この1から6の考え方は札内地区に、また、候補地についても最後に書いてる(スマイルパークの)ところが、良いのでは。

町

位置の選定は、一番大きな問題。そういった意味からも、内部で原案を作る段階においても、色んな話し合いをしてきたところ。人口の7割が札内地区。なのに何故本町に役場を建設するのか。当然、内部でも検討してきた。

本町側にも、6千人余りの方がいる訳でもあり、忠類との3極化している中では、札内地区がどんどん発展する。しかし、一方では、本町側が衰退してしまっているのか。そんなことも心配の一つにある。

現在、役場が本町にある。そのことによって、生活をされている方も沢山いる状況からすると、なんとか、札内地域の皆さんには、今現在、ご迷惑を掛けているという思いもありながら、当面、役場の庁舎の建設にあつたては、現庁舎敷地あたりが良いのかな。と、そんな思いで、この原案は作らせていただいた。

説明会を開催させていただいている中で、多くの意見を、今後持ち帰って、十分検討させていただきたいと考えている。

住民

もう1点。新庁舎を建設するということは、50年、100年先を見越していかなければならない。そういった点からしても、今の世代というか、若い人達の意見を聞く機会があれば良いのかなと。特に、高校生前後ぐらいの意見が必要ではないか。この辺どう考えるか。

町

今日で説明会が終了する。これらの内容を踏まえて、検討した上で、さらに今おっしゃられた、若い世代の方の声を聞く。これもまた一つの手法と思うので、それらも含めて検討させていただきたい。

住民

縷々説明があつた。庁舎を建てることを前提にして作られている資料である。たたき台というが、資料に並べられていることは、実質的に検証されているものではない。あくまでも、役場側の希望として出している。しかし、町民側は、これに対する検証が全くできない。現状では。

町長に尋ねる。手続上の問題。町長は今般、立候補する段階において、庁舎の問題を公約に謳ったか。当選後、突然この問題が出てきた。

住民の意思。これを捉えるためには、ある程度手続を踏む必要がある。全国的にみても、庁舎を建設する際は、殆ど住民に意見を聞いている。こんな説明会程度ではない。

先ず、どういった調査が必要なのか。町の財政がどうなのか。多面的なことを全部検証して、それを総合診断して、その中からどういった建物を建てるのが良いのか、どの場所に建てるのが良いのか、財政的にはどこまでできるのか、ということが、殆ど全国の中で見られるやり方だ。

にも関わらず、幕別町は、一方的に一つの案を作ってきて、これを示して、説明会という形で今この場に出している。手続が違っているのではないか。

基本的に、住民の意思を反映させると言っているが、この場の人数だけで、どうやって、住民の意思が本当に反映されるのか。

私は、住民の意思が本当に反映される手続が必要と思う。それが、住民投票であつたり、住民アンケートであつたりすべきだと思う。これに基づいて、第三者的な機関を作り、この案をたたき台として使いながら、場所はどこか、予算的にどれだけ使えるのか…。

現実には、町の借金で一人80万円以上、これから税金を払って行かなくてはならない。現在の額面では、80万から90万の借金を一人ひとりが背負っている。赤字に至るまで。

そういうことを検証していない。今言ったように中間がどこか分からない。その中間の設定

でさえ、みんな意識が違う。理念性の問題だってみんな違う。札内が便利、本町が便利だと思う方もいる。これも検証しないとらない。

こういった過程を経た中で、初めて庁舎をどうするのかの話が出てくるはず。建てるのが前提となっていて、「さあ、こういうことでやるから、取り敢えず、聞いてくれ」という場にはか見えない。

この辺の事務上の問題、選挙を経て、議会の議員でさえ、この問題を選挙の中で公約として殆ど語ったものはいなかった。我々にしては寝耳に水。

この辺の考えについて、町長から説明いただきたい。

町

庁舎の建設問題に関わって、選挙公約には、もちろん、申し上げなかった。先程来説明しているように、庁舎を建設するかどうか、建て替えかの是非が判断されたのは、いわゆる、検討業務の委託の結果が出てきてから、内部的な検討をして出たものである。

昨年の秋に、委託の予算を議会に上程し、その予算をもって、3月末日までに業務報告を出してもらおうよう委託したもの。

その段階ですから、まだ庁舎を建てるものなのか、このまま使っていくものなのか、あるいは、改修することによって5年10年使えるものなのか。これが分からない状況の中では、公約の中で、「庁舎を建設します」ということにはならないだろうと。

そういったことを踏まえて、委託の検討報告の結果が出た、それを内部で検討して、6月に議会にもどうですかと、さらに、それを踏まえて、住民の皆さんにも。

ある日、突然、住民の方々に「庁舎を建てたいけど、どうですか」という投げ掛け方が、本当に良いかどうか。逆に、投げ掛けられた住民の皆さんも、「役場で、何の案も示さないで、俺たちにどうしろと」と逆になるのではないだろうか。

案を作った訳だが、これを皆さんに説明をさせていただき、ご意見をいただく。さらに、この後、どんな方法が良いのかは勉強しなくてはならないが、今おっしゃった住民代表の審議会も必要になってくるものと思う。

ここに来るまでの過程は、あくまでも、検討結果が出て、それを踏まえて内部で検討し、内部で固めたものを皆さんに説明させていただいて、ご意見をいただき、またさらに、内部で検討して進めさせていただきたいと考えている。

住民

確認。これは（基本方針（案））は、あくまでも、たたき台であって、これから、住民の意思を聞くということで良いか。

町

そういったことで、ご意見をいただいている。

住民

これは、たたき台か。（町：はい）

たたき台であって、この他のことは白紙で良いか。（町：白紙とは？）

場所だとか、予算措置だとか。まだ全然決定していないということか。考えるための参考資料か。（町：もちろん）

もう一つ確認だが、住民の意見を聞くために、第三者機関を作りましょうと、作っていかうとおっしゃった。

町

それは、今提言をいただいたので、そのことも、十分内部でこれから検討させていただきたいということである。

住民

それだけでは、足りない。単純に議会や町が指名した者だけで作ることになる。そうではなく、札内、幕別が対立する関係は私は望んでいないので、札内に建設するとか、幕別に建設するという問題をすること自体おかしいと思っている。そういうことも含めた、基本的な住民の意思を問うべきだと思う。それをやっていただきたい。選挙で争点になってないのだから。だから、住民の意思をきちっと問うべきことを今して欲しい。とお願いしている。それについて、見解を質したい。

町

これから、住民の意見をどのように聞くか、作業の中で反映をしていくか。そのことが大事とおっしゃられている事なのだろうと思う。

アンケートも一つの手法であるし、投票することも一つの手法である。住民の代表が集まっていたら協議することも。

もちろん、皆さんの代表である議会もある訳だから、議会の中でもまた検討も必要だと思っている。

今後どうするか。これがこの前段の今日までの説明会。貴重な意見を沢山いただいている。これらを踏まえて、内部でも十分検討してまいりたいと考えている。

住民

札内地区の説明会に全て参加した。どういった論議、説明をつまびらかに聞こうということで参加した。

たたき台と言うが、どう見ても、どう考えても…。

10月24日に町長は「たたき台である」とおっしゃった。確認している。忠類では、原案素案でもない、要するに白紙で考えていいと、言うようなことがあったそうだが、私は直接は聞いていない。

いずれにしても、そうは言っていないながら、色んなことを聞く限りでは、全部その答えは、ここはダメだ、あそこはダメだ、結局、原案のところに（庁舎建設を）ズーっともっていこうとしている。

10月24日の話。「これは報告ではないですか」と聞いたら、「いや、たたき台です」と。それじゃ、議会は「議会ではどうしているのか」と聞いたら、「議会に諮問した訳ではない。独自に検討をやったんだ」と。信じたいけど、議会と繋がっているようで、嘘のように見えてしまう。

平成27年までに、基本設計、実施設計をして、建設の時に起債を起すと、それが、特例債があるから有利だと。「特例債があっても、あてにしないほうが」と聞けば、「特例債をあてにしている訳じゃない。自分達で計画はあるんだ」と。結局は、平成27年の期限までにやろうとしている。

11月1日の時には、耐震診断結果で現庁舎が非常に危険であるから、そこで仕事していること自体おかしいではないかと、早いとこ退けなかったら、仮設でも空いているところでも良いけど、いつ地震がくるか分からないから、壊れてもいいのかと。そしたら、町長は何て言ったか。「そういうことが起きないように祈るだけ」と。神頼み。ずっと神頼みを続けて、3階4階を少し片付けて、もう少し使えばいい。

11月2日。借入に対する考え方が、非常に民間的感觉ではなく甘いんじゃないかと。官は、どっからでも借りれるということで、その考え方を聞いた。「借入は少ない方が望ましいし、極力財政状態を良くするように努力しています」と。そんなことは、誰でも答えられるようなこと。

結局は、どう努力して、どう減らしていくかということが何もない。しかも、返済計画には、工業団地の売れ残りが12億ある。この12億は、町が毎年返済する10億より多い。売れないモノは資産になるからいいと、民間的な貸借対照表から言うと、それは資産じゃない。売って、雇

用が張り付いて、初めて潤うもの。私から言うと負債だ。マイナスだ。

また、札内支所に職員をどの位増やすのか、には、「検討中だと。来年4月1日まで、検討して答えます」と。

札内支所に行って、よく見ているが、奥の第1和室。これも直せば相当入る。それから、入って右側の第1講座室。あれだって、何人かは入れる。それなのに、具体性がないのに、検討しますということばかり。

本町に庁舎建設の原案は、いみじくも町長は2日におっしゃった。「やっぱり、本町に建てないと、本町が衰退するんだ」と。「札内7割の方は、多少我慢してもらわんとならん」と、こういう意味のようなことを言った。

国勢調査結果では、札内だけ。2.3%人口が増えているのは。本町は6.1%減っている。忠類ももっと減っている。

よく考えれば、どこが中心がわかる。よく考えれば。けれども、言っていることが矛盾し、全て「検討します」、「これから考えます」だけで、何の具体性もない。

結局は、本町の裏に誘導するという説明会である。結局、建物ありきが先に走っている。住民サービスをどうするかのための庁舎でないとならないのに、全く、そういった考えではないと思っている。

資料2の7ページに、住民アンケート、パブリックコメント、住民懇話会、住民説明会と4つ書いてある。

町長は、全6箇所の説明会を経て、検討して、色んな手法を含めて、対応していきたいと。具体的なことは言っていないが、何かをやるということを行っている。

この6回の説明会、精々230人240人の参加者。私達のやったアンケートは360人から回答が来ている。数の問題からすると、どちらも、全ての意見を網羅しているとは考えられない。

少なくとも、住民アンケートを、世帯数が11,700ちょっと。住民アンケートをとるということを、今日、約束してください。

町

アンケートの実施は、色んな面で、良い面もあれば、弊害の部分もあるんだろうと思う。

先程来、申し上げているとおり、色んなことを踏まえながら、住民意見を聞く様々な手法があるんだろうと思う。そういったことを踏まえながら、先程来、申し上げているとおり、どういったことが、これからやっていくことが良いのかを、十分内部でも、検討させていただきたい。

住民

今まで聞いてきて、全然身になっていないという感じ。だから、せめて、この中から、私は住民アンケートが良いと思っているが、よろしくお願ひしたい。お願ひではなく、約束してください。

町

住民アンケートは、言葉では簡単にアンケートと言うが、当然、アンケートをとる以上は、アンケートの中身というものが、必要と、大事になってくる。どういった中身にするのかについても、考えていかななくてはならない。今この場で、アンケートをすとかしないとかの話にはならないだろうと私は思う。

住民

そうおっしゃるが…。

幕別町のホームページを見てきた。

都市計画マスタープランがあり、第2章の都市づくりの課題の中に、「町民福祉向上を最優先に、自然と調和した、快適なまちづくりをする」と。

第5章にまちづくりの実現化方策として、まちづくりネットワークとして、公区があって、

町民個々があって、NPOがあって、企業あって、その4つで、これから、ネットワークを作って、まちづくりの検討会をしようと言っている。

マスタープランを作ったときも、住民の多くの参加を得ている。だから、これから、どういった内容のアンケートをするかは、このネットワークでもいいし、有識者でもいいし、そういう人達を集めて、アンケートの内容は考えればいい。(この説明会は)意見の吸い上げに、絶対になっていない。

私も、色んな人に出会った。「これはもう、決まってる」と聞いている。説明会で聞いても、「検討する」ばかりで、「どうせ変わらない。同じでないの」という意見が多い。

結局、住民ありきの建物でない。建物をどこに建てるのかしからずやっていない。これは、後回し。

それまでの過程が全くない。たたき台だからと言うけれど、そうしたら、2つも3つも案はあるはず。なのに、たった一つの案を出して、それに誘導しようとしているように見えてしょうがない。それなりの理由はあるかもしれないが、それだけでは、住民の意見を反映して、良いまちづくりになっていないと思う。

町

先程来、申し上げているとおり、私どもは新庁舎の必要性があるということで、内部で検討させていただいて、一つの案、たたき台をまとめて、皆さんに説明をさせていただいて、そして、皆さんからのご意見をいただく。それらを踏まえて、さらに、今後に向けての作業を進めていくことが、この説明会の大きな役割だと思っている。

もちろん、今言われたこと、アンケートのこと、あるいは、審議会のこと、色んなことが想像、予想される訳だから、そういったことを十分踏まえながら、これからも対応していきたいと考えている。

住民

「これから対応する」ってことは、何回も聞いている。今日は、約束を取り付けるまでは帰りたくない気持ちで来た。約束してください。住民アンケートをすることを。どうですか。みんな。(場内拍手)

町

ですから、この場で、物事を決めるという場ではないと思う。あくまでも、こうした案を説明させていただいて、そしてご意見をいただくことが、この説明会の目的であるから、連日いらっしゃっている方もいるし、今日初めて来て意見を申し上げたいという方も沢山いらっしゃると思う。

そういった方達の意見も、また大事。1対1で、ずっと話している訳にはいかないと思う。機会があれば、お話を聞くことも、やぶさかではないので、お話をさせていただきたいと思う。

住民

要するに、検討させてくださいということか。検討してもらうことはいいが、結局、アンケートをやるとかパブリックコメントをやるとか、懇話会をやる考えがあるのかどうかだけ、聞かせてください。

「検討する」ではなく「ある」ということを言ってもらわないと困る。結局、検討した結果、やらないとなったら、それで終わりだから。非常に不安。

町

繰り返しになるが、この場で、何々をやると申し上げる説明会ではないと私は思う。あくまでも、説明させていただいて、ご意見を聞くということが、今回の説明会であるから、そういった意見をこれからどう対応していくかという場であるので、ご理解願いたい。

住民

私も4回出席している。町の基本的な理念とは何か。この幕別町をどうするのか。その理念があると思う。幹部の中で、そういったことを考えたことはないのか。町民をどう幸せにしていくか、根本的なこと。これを聞くといつも黙る。目標がない。そんな町に行政を任せられるか。

町

私自身、選挙の時には、住民の皆さんと一緒に、一人一人の意見を聞きながら、まちづくりを進めていくことを申し上げてきた。

住民

それは、当然のこと。理念じゃない。企画の責任者。これは(説明会)どういう意図でやったのか。理念もなくて。

町

幕別町の第5期総合計画(計画を掲げて)をご存じか。

町民の皆様にも概要版をお配りしている。その中で、マチの将来像の考え方ということで、4つの柱がある。

一つは、先程来町長が言っているとおり、町民参加、町民との協働。二番目として、地域を支える人づくり。三番目として、環境への配慮と自然との共生。四番目が、均衡ある発展と一体感の醸成と。この4つの基本姿勢をマチの基本理念として捉えている。

理念があるとかないとか、決してそういうことはない。これは、町長が自らが、我々と検討した中で作成したものであるので、ご理解いただきたい。

住民

その理念にのって、新庁舎の建設を考えたのか。

町

今回の庁舎建設のたたき台の作成にあたっては、この4つの基本理念が、当然網羅されている。

例えば、町内で6箇所の場所を候補地とした。その中には自然との共生もあるし、均衡ある発展もある。あるいは、地域を支える人づくりの一つの方法もある。また、先程から議論になっている、町民参加。こういったものを踏まえながら、たたき台に対する皆さんから意見をいただく段階で進めているということであって、これ以上説明しようがないということで、ご理解いただきたい。

住民

私はこの説明会に5回参加した。本町が寂れていくことを危惧している。町民会館での説明会では、18人の参加。本当に疲弊して困っているのであれば、町内会や公区長などが参加して、自助努力していくべき。

今日で最後の説明会。最後の締めとして今後の方針をお聞かせ願いたい。

町

冒頭、申し上げたとおり、先月17日から説明会を開催してきた。沢山の意見をいただいているので、今日終了した後、十分内部で意見を集約して検討していくし、また、議会からの意見も伺っていかなければならないと思っている。

住民

確認する。町長は、選挙を経て、町の行政を執行する最高責任者となった。幕別町の理念からして、住民参加が謳われている。現実にもそうある。

残念ながら、この（庁舎建設）問題を知らない方が沢山いる。幕別町が庁舎を建て替えようとしていることを、みんな知らない。広報に載せれば、それでよしということにはならない。広報を見ていない人もいっぱいいる。

でも、負担は公平にくる。そういう方々にも。で、お願いがある。町の理念から言って、住民参加型の町政を行っていくという町長の信念というか公約であるならば、幕別町がどういう状態で、その中で庁舎建設の問題があるということを周知するためにも、是非、アンケートを全世帯に対して出して、そうして聞いてください。

これは、町の執行責任者である、町長が、個人として、この場で、約束できる事項ではないか。後ろに控えている幹部に聞く必要はない。あなた個人が、自分の政治信念として、町民の参加を求めた、そういう方向での政治を行いたいという、理念を出しているのであれば、この場で約束できると思う。それをお答えいただきたい。

町

先程来、申し上げているとおり、アンケートを実施するかどうか、もちろん、アンケートを全世帯を対象にして実施するとした場合には、アンケートの内容・中身も考えていかなければならないことだろうと。そういったことを踏まえた中で検討させていただきたい、これから考えていきたいということを申し上げているのであって、全くやるとか全くやらないということ、今の段階で申し上げるべきではないと考えている。

住民

アンケートの内容については、後でいい。町長自身が、住民全体に対して、この問題を告知し、その人達の意思の表明の場を作るか作らないかを聞いている。アンケートの内容は、実施することが決まって、町長が意思決定をし、どういった内容にするか考えればいい。後の問題だ。今、大事なのは町民の意思を聞く気があるのかなのかだ。

住民

とんでもない（大きな）予算を使うのだから、検討させてくださいというのは、ごもっとも。しかし、幕別町のトップ。せめて、何らかの方法でやりますと、何故言えないのか。不思議でしょうがない。リコールをするなんて言っていない。考えて欲しいと言っている。小学校でも答えを出す。これは。

何回も「検討します。検討します」と。誰と検討するのか。

言わせていただくが、今まで専門の人と何回も検討してきたのでは。私達はこの説明を受けて、答えることができるのは何日もない。検討する時間が私達にはない。

コソコソと検討してきたのではないか。幹部と議員とで。何故その結果報告を出さないのか。誰が何を言って、どういう意見がでたのか。

一つも分からない。これが住民参加か。住民サービスか。札内に建てれとか幕別に建てれとか、私は一言も言っていない。手続をちゃんとやってくれと言っている。住民の声を可能な限り聞いていくのが、民主的な政治じゃないのか。

それを答えられないとは、町長、不思議でならない。

私は町長より頭が良くない。町長はトップクラスの頭をされている。なのに、何故答えることができないのか。ただの1回も、はっきり言ったことはない。

私達は町長に答えてもらいたい。何故か。最高責任者だから。周りの方は、町長の顔色見ないと何も言えない。責任もって言えるなら、言ってください。周りの方、言ってください…。副町長が司会して、答弁して。こんな見たことない。ルールが狂っている。お宅達は。

任せておけば、ちゃんとやってくれると思っていたが、この有り様。情けない。ホントに情けない。

「皆さんの意見承りました。検討した結果、こうなりました」という筋書きだと。みんなしらけている。決まってるって皆さん言っている。

ある業者の方が、ホントは反対だけども、表に立って町長に反対できないと。(町長や副町長と)人間関係があれば、言いたくたって、言えないこともある。

私は優しい性格。でも、この問題で怒った。だから、町長、皆さんが何度も言っているように、せめて、何らかの方法でやると。そうでなければ、論議していても無駄。答えをください。

町

住民意見を吸い上げる手法としては、このような説明会でご意見を聞くこともあるし、アンケートで町民全体の意見を吸い上げることもある。あるいは、提案のあった、住民の代表の方で審議会を作って、そこで色んな意見を戦わせていくこともあるだろうし、色んな手法があるため、どの手法が一番いいのかを検討させていただきたいということを先程来申し上げている。

もう一つは、アンケートをとる場合、中身についても当然考えなければならないこと。これらも含めて、全体的な意見の集約と、今後どういった手法で住民の皆さんと意見交換を進めていくかを協議していきたいと。

絶対にやらないなんて、もちろん言ってもいないが、必ずアンケートをこういった形でやるとも言っていない。色んな手法を講じながら、皆さんとの意見交換を続けていきたいという意味で申し上げた。

住民

全然答えになっていない。

住民

基本的にアンケートしか手法はない。

町

アンケートをする中身は何か。

住民

今、聞いているのは、住民の意思を問うかどうかだ。

住民

アンケートをやるかやらないか決める前に、内容をどうやって決めるのか。やることが決まってから、どういった内容でアンケートをするかの話になるのではいのか。それをさっきから言っている。

住民

「建てることはしない」なんていうアンケートはしなければいい。そんなことを言っているのではない。

財政が厳しいと、だからなるべく財政的にも、皆さんに負担を掛けないようにやりたいと。そういうことを徹底していくのがアンケートの意義だ。

その上で、耐震性が危ないので云々と、ご理解いただきたいとお願いすればいいのではないか。あるべき事を住民に徹底するということだ。

そうやれば、私達は何も問題がないと言っている。もう一回お願いする。答えが出ないのなら意味がない。

住民

アンケートをやるって、言えればいい。難しくない。

町

アンケートをやる以上は、それなりの中身の問題にもなってくる。ということが前提にあったものだから、ただ、今おっしゃるとおり、この説明会をやって、こういう事で皆さんにお諮りをしたと。そういった事を、住民の皆さんは「どう思いますか」という意味での、アンケートをとるということでよろしいか。

住民

いいですよ。これから検討すればいい。これから。

住民

アンケートはやるのか。住民の意思を問うといことを「する」ということをするか。それは約束するか。約束を。

町

そうです。ですから、その方法が、アンケートも手法だし、色んな手法があることを申し上げているので、アンケートがダメだとは言っていない。

住民

アンケートをやったらどうですかと提案をしている。

住民

そう。提案をしているんだ。

町

その意見はお伺いした。

住民

あなたは、町政の執行責任者。それを言える立場にある。何故言えないのか。

住民

町長が心配ないような内容に詰めていけばいい。町長の仲間を入れて。色々な人を入れて。

町

分かりました。その方向で進めさせていただきます。

住民

女性が誰も意見を言っていないので、女性の立場で言わせて欲しい。今日、この場に参加しようかどうか迷っていたが、夫に「こんなものは、もう決まっている」と言われた。

広報で、こんなに説明会をやっていることを知った。あの広報の書き方にも問題はあるのかもしれないが、すでに決まったごとく進められている。

すでに議会に通ったことなんだろうかという疑問で、今回参加した。が、決まっていないということ。何も。

主婦の方々は、殆ど知らないと思う。平成23年3月18日に委託した報告書が完成された。3月11日に大震災があった。その後の経過は、国民の一人として見ている。

女性として、今一番言いたいことは、家計を預かっている。一番心配なことはお金のこと。あの震災の後に、これから消費税は上がる、年金だって分からない。国際的にはギリシャだって酷い状況。TPPの問題、ものすごく大きな問題。幕別町にとっては死活問題。

こういった流れが変わったので、この流れの中で20億、30億の借金をして、庁舎を建設する、あるいは、報酬も含めて。今、する必要があるか無いかの是非は、女性も含めて問うていただきたい。私達は（家計の）お金を預かっている。本当に苦しい。

これから先、税金がどんどん国家的に増えていくと思う。何十兆円というあの震災の負債を、私達一人一人が払っていかなければならない。と考えると、この時期に、しかも、みんながコストダウンしていく時代の流れの中で、まだ築後39年で、何十億も、この小さなマチが、借金を抱えて、そこまでする必要があるか無いかの是非を、どーか、女性一人一人を含めて、問うていただきたい。

住民

アンケート調査が嫌であれば、町長の専決事項として、諮問委員会を作ってやればいい。アンケート調査が嫌であれば…。

要するに、役場の人間だけではダメだ。一般人も入れてやらなければダメだということ。

アンケートの内容も、一般人も入れてやらなければ、文言の書き方によっては、良い悪いの判断が変わる。だから、審議会を作ってやればいい。そういうことを考えたらどうか。

初めから、ストーリーが出来ていて、アリバイ作りの説明会。どこかでアングラ情報を流しているのではないか…。

町

何度もお伺いをしている。ご質問の内容に対してはお答えしたとおり。変わるものではない。

住民

色々意見はあると思うが、先程言われたとおり、アンケートを実施して、町民に問うたら良い。それが一番良いと思う。それを望んでいると思う。どうぞよろしく願いしたい。

住民

最後に一言。町職員の意識改革をして欲しい。礼儀、挨拶、これがさっぱりになっていない。今日、本庁に行っても、知っている職員は頭を下げるが、いらっしやいませの一言もない。そんな職員ばかりの庁舎に誰が行くか。

それから、受け答えがしっかりしている人を札内支所に置いて欲しい。分からないから本庁に行ってくれとなる。そういったことがないよう、部下の指導を。

企画室の出前講座、協働のまちづくり、ただの言葉だけ。町民に出向いて、汗を流してやって欲しい。これが最後のお願い。これが無かったら行政などいない。

(了)